

広報

TOBETSU

とーべつ



1995年4月1日発行 No.499 発行 北海道当別町 編集 企画部企画課



第30回当別幼稚園修了式

(小学校入学を胸に、年長組の35人が巣立った。・3月16日)

4

町の人口19,216人(男性9,598人・女性9,628人)世帯数6,694世帯(3月1日現在)(前月より64人・26世帯増)

平成7年度のまちの予算

伝統を生かし 心ふれあう 田園都市をめざし

一般会計は110億4,500万円

主に平成7年度の一般会計予算案や特別会計・事業会計予算案が審議される「第2回町議会定例会」が、3月7日から17日までの会期で開会されました。

会期初日の7日は、伊達寿之町長・有澤楨雄教育長が新年度の町政・教育行政執行の基本的方針を述べ、議員・町民の理解と協力を求めました。

7年度予算案は「予算審査特別委員会」で審議後、本会議で110億4,500万円（前年度当初、6.6パーセント増）の一般会計予算案と、合わせて52億2,190万円の特別・事業会計の、総額162億6,690万円（同6.9パーセント増）の新年度予算案が可決されました。

新年度予算は、第3次総合計画の着実な実現に向けた「輝かしい伝統を生かし、心ふれあう緑豊かな田園都市」を展望しつつ、「行ってみたいまち、住んでみたいまち・とうべつ」、さらに「住んでみてよかったまち・とうべつ」の実現を目指しているものです。

今月号は、新年度予算の概要について町長・教育長の「町政・教育行政執行についての所信」とともにお知らせします。



町政執行 についての所信

町長 伊達寿之

拡大する生活圏に対応する ひらかれたまちをつくるために

行財政の運営

地方財政を取り巻く環境が依然厳しい中、身近な社会資本の整備や高齢化に対応した福祉施策の充実など、現行の政策課題推進の上で地方公共団体の役割は益々大きくなっていきます。

こうした役割を果たすためにも、財源の見直しと行政経費の節減・合理化を行いながら、財源の重点的・効率的配分に徹し節度ある財政運営を行います。

町民参加

町民の意見や提言を町政に取り入れ、民主的で公正な行政を執行するための広聴活動は、町政に対する町民参加の意味からも大切なことと考

えています。

本年も広聴活動の一環として「広聴箱」の活用や「町政懇話会」を開催し、開かれた町政の推進に努めます。

公共交通

学園都市線の電化・複線化は、多くの困難と長い時間がかかる課題ととらえています。「学園都市線電化・複線化促進特別委員会」「札幌線（学園都市線）整備促進期成会」が一体となり、関係機関に必要な理解を求め利便性向上に努めます。

また、地域住民の交通手段である「青山線」のバス路線については、昨年同様運行確保に努めます。

道路事業

生活の基盤をなす道路の整備は重

要な課題であり、交通安全のためにも整備を怠るべきではないと考えています。

国道においては「道央新道当別バイパス」の早期完成を目指し、地権者の理解を求めながら国に事業の促進を要請します。

また、275号・337号・451号の各国道についても、拡幅や歩道整備を国に要請します。

道々については、「当別浜益港線」の2次改築の促進と「札幌当別線」の歩道整備を北海道に要請します。

町道については、「町道本通線」の商店街から国道275号に通じる橋の新設工事に着手します。

また、「スウェーデン大連線」についても、早期完成に努めます。

防雪対策

冬期間の交通確保は、町民生活の根幹と考えております。

道路の除排雪に万全を期すため除雪ロータリー車を購入し排雪体制を充実するとともに、吹雪対策として防雪柵の整備も進めます。

恵まれた自然と調和した 美しいまちをつくるために

行政区画

未確定になっている石狩町との境界は、合意事項に基づき昨年度境界

当別大通整備計画

「当別大通」の整備は、札幌土木現業所が実施の街路事業と、当別町が実施の土地区画整理事業により一体的に整備することになりました。

本町としては街路事業区間との整合性を図る上から、幸町地区を中心とした公共施行による土地区画整理事業の事業化に向け「土地区画整理事業B調査」を実施し早期事業に努めます。

また、街路事業区間についても関係機関と協議しながら早期事業化に努力します。

国際交流

スウェーデン・レクサンド市とは、昭和62年に姉妹提携を結んで以来、スウェーデン交流センターを中核拠点として益々交流の絆が深まっております。

「夏至祭」の開催など、今後も当別・レクサンド都市交流協会や関係団体と連携を取りながら、「スウェーデン」に一番近い町「とうべつ」として町民の意識高揚に努めます。

測量を実施し、今後両町間の調印を経て確定してまいります。

また、分かり易いまちづくりに向け、平成4年度から実施中の「町

地籍調査

本年度は上当別・材木沢・田の沢・弁華別の各一部の地籍測定・地籍図などの作成を行います。

都市計画事業

都市計画法の改正により、用途地域指定の細分化が義務付けられたため、指定の見直しを行います。
また、見直しに合わせ本町市街地の用途地域拡大と太美地区の用途地域指定を行います。

公園緑地整備事業として整備の「当別川河川緑地」を引き続き整備す

安心してついでに

快適なまちをつくるために

防災対策

災害時の対策を総合的に推進するため「地域防災計画」を見直すとともに、防災に対する町民の意識高揚に努めます。

また、消防行政についても、施設整備の充実や機能体制の強化とともに、今年度から女性消防団を導入し火災などの予防を積極的に進めます。

交通安全対策

町内では昨年、交通事故により4名もの尊い命が失われ、多数の傷者

るとともに、本年度新たに「白樺緑地」とし旧池田医院跡地を含めたパンケテユウベシナイ川までの区域を整備します。

都市計画道路の「鉄北通」については、高松橋の実施設計、及び周辺の用地取得や建物補償などを行います。また、新規に「北栄通」に着手し、既成市街地の街路整備を行います。

当別駅周辺整備事業では、引き続き「駅北広場」の整備を実施し完成を目指します。

「駅南広場」については、一部用地取得・建物補償を行います。

も記録されました。

これらを教訓とし「交通安全は家庭から」をスローガンに啓発活動を行うとともに、高齢者の交通事故防止対策を強化します。

また、信号機などの交通安全施設の整備・充実を、引き続き関係機関に要請します。

住宅対策

住宅の確保や入居者の文化的生活確保のための春日団地建替事業は、昨年1棟(19戸)が完成しました。今年度は2棟(24戸)を完成させ、また新たに2棟(41戸)の建設を進

収率向上に努めます。

下水道事業

雨水対策のため、栄町・末広地区に雨水管を整備します。

汚水処理については、対雁通・緑町地区の管渠整備を行い、清潔で快適な暮らしができるよう進めるとともに、水洗化率の向上に努めます。

農業集落排水事業

汚水処理のため末端管渠を整備し、区域内の全てが供用できるよう努めます。また、公共下水道事業による整備が進むまでの対応として合併浄化槽を設置し、生活に支障がないよう努めます。

子供からお年寄りまで 健やかで心の通いやすいまちをつくるために

保健対策

乳幼児・基本・成人病検診や各種



ガン検診の強化をはじめ、予防接種・母子健康事業・健康教育と相談・リハビリ事業などを推進し、健康づくりから疾病予防・リハビリテーションまで一貫した保健サービスを進めます。
本年度は、新たに骨粗しょう症の検診を行い、女性の健康づくりと高齢の女性の骨折による寝たきりの予防を進めます。
また、救急医療体制、夜間・休日の医療については、医師会と連携し、管内在宅当番医制運営事業や救急医療情報システムも取り入れ、いつで

環境衛生関係

大量消費やライフスタイルの変化に伴い、ゴミ発生量の増加や種類も多様化しています。北狩衛生施設組合の処理体制のもと、分別収集による適正処理に努めるとともに、町内会や保健衛生会・各種団体・事業所などの協力をいただき、ゴミの減量化とリサイクルを推進します。

また、快適な生活環境の維持に向け、汚水側溝の清掃・河川の水質検査を行います。

このほか、東裏墓地の整備と墓地管理台帳整備を年次計画で実施するほか、町内各墓地の環境清掃を進めます。

当別ダム対策

当別ダム建設は、北海道補助ダムとして平成4年に着手し、平成18年度を完成目標に事業が推進されています。平成4年度からは、水没地域住民や関係団体などの補償に關する調査が進められていますが、今後関係住民の理解を得ながら未調査部分を早期に完了できるよう、北海道とともに努力します。

さらに、本町としても水没地域住民に対する各種生活再建対策を重点的に進めており、また、背後地住民対策についても希望者の集団移転あるいは地域の振興について起業者

も安心して医療が受けられるよう努めます。

高齢者対策

平成11年を目標年次とする「当別町老人保健福祉計画」を推進し、保健・医療・福祉の連携を取りながら、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるように、きめ細かなサービスの提供に努めます。

また、本年は在宅寝たきり高齢者の訪問歯科事業を新たに実施するとともに、希望の仕事を通して生きがいの充実や社会参加を目的とする「高齢者事業団II仮称」を設立します。

障害者・母子対策

相談業務の充実とともに、医療費に対する助成拡大(3級の内部障害者と母子家庭の20歳未満の子)や、町内タクシー料金の一部を助成する「福祉タクシー事業」の対象者を拡大

人材の育成と歴史・文化を大切に するまちをつくるために

人材育成

町づくりは人づくりの視点に立ち、将来の町づくりの中核となるリーダーを養成するため意を注ぎます。

また、自らの発想で地域づくりを考える熱意のある青少年や婦人・団



である北海道とも鋭意取り組み最善の努力を重ねているところです。

当別ダムを計画通り推進するためには、関係住民の協力なくしてダム建設促進は有り得ないもので、関係地域住民の理解と協力を得るよう誠心誠意努力します。

治水事業

水害のないまちづくりは、開拓以来の懸案です。

石狩川については、抜本的治水事業の取り組みとともに、河道・関連橋梁整備や当別川築堤改修事業の早期完成を国に要請します。

また、当別川については、当別ダムの事業促進とともに、現在実施中の工期工事と材木川改修二期工事の早期完成を北海道に要請します。

普通河川や排水路の整備は、国営かんがが排水事業や排水対策特別事業を取り入れながら取り組みます。

(3級障害者)します。

また、補装具の給付や人工透析を受けている方に対する通院費の一部助成を引き続き行います。

国民健康保険事業

高齢化や医療の高度化などにより、国民健康保険費の増大は避けられない状況にあります。

国民財政安定化の課題は全国の市町村共通の問題であり、全ての機関と連携を密にし国庫負担の拡充を国に強く要請します。

保険税については、国保運営協議会の答申を尊重し、負担能力を考慮した課税を行うとともに、一般会計からの繰り入れを行い、事業運営に努力します。

また、各種検診やミニドックの受診奨励・検診料の助成を行い、疾病の早期発見・早期治療、健康増進と医療費の適正化に努めます。

体などに対し、人材育成基金を活用し支援します。

幼児保育対策

核家族化の進行や共働き世帯の増加により、幼児をとりまく環境は大きく変わりつつあります。こうした変化の中、本町では幼児の減少地域

と増加地域とがあり、保育所運営の新たな課題となっています。今後は地域の実情に応じ、長期的視点に立った保育計画を樹立し、保育所運営の充実を努めます。

教育・文化・スポーツ振興

社会の急激な変化により様々な教育上の課題が生じておりますが、家庭・学校・地域が一体となり、教育委員会と十分連携を取りながら豊かな心を育てる学校教育の質の充実と生きがいのある人生を築く社会教育の振興に努めます。

いじめの問題については、学校・家庭・社会が一体となって、緊急かつ総合的に取り組みを進めるべき課題であり、十分な取り組みがなされるよう努力します。

学校給食については、若葉町に「学校給食センター」を建設し、望ましい食習慣の形成と栄養バランスのとれた食事を提供します。

学校環境整備については、人口増

農林業の振興

農業振興については、個性ある農村環境づくりや多様な交流施設の整備推進、稲作・畑作など栽培技術の確立と機械利用の効率化により生産性の向上の指導に努めます。

加により学級数が増える西当別小・中学校に、プレハブ校舎を一時的に増設して対応します。

また、広い視野を持った人材の育成のため、青年の海外研修や少年・婦人の国内研修を実施します。

文化センターの建設・西当別地区に計画のコミュニティセンター建設については、早期実現に努力します。スポーツ振興についても「町民皆スポーツ」を目指し、スポーツ教室の開催や各種大会の支援、団体の育成に積極的に取り組みます。

北海道医療大学

北海道医療大学は昭和49年に設置されて以来、経済的、文化的、強いては町の活性化に大きく貢献しているものと認識しています。平成5年には看護福祉学部が新設されたところであり、今後も大学関係者と地域住民も含めた交流に意を注ぎ、大学の持つノウハウを町民が享受できる環境づくりを目指します。

多様な可能性を生かした安定した産業のあるまちをつくるために

特に稲作においては良質・良食味の米の安定生産や生産コストの低減などが重要で、病害虫防除・除草剤散布の省力化・不稔障害軽減のための防風網設置推進や土壌の透排水性改善のための機械購入に助成します。また、後継者の育成や経営改善資

金借入者に対する利子助成を行い、また畜産振興については、家畜飼育管理技術の向上と生産コスト低減のための指導に努め、計画的・効率的な生産体制の確立に努めます。

林業を取り巻く環境は非常に厳しい状況にありますが、森林資源の充実とともに国土保全・水資源のかん養や環境保全など、公益的機能を発揮させるための整備を推進します。

商工業行政

バブル経済崩壊後の景気低迷にもようやく回復の兆しが見えつつありますが、中小企業中心の本町においては依然厳しい現状であると考えます。

本年度は、地域の活性化や商工会の機能充実のための助成はもとより、商工会館の整備に助成します。

観光行政

「道民の森」利用者は、年々増加しているところであります。既存の観光資源の環境整備と地域産業との連



携を密にし、本町経済への波及効果を増大させるためにも広域を結ぶ観光の振興と町のPRに努めます。

労働行政

魅力ある職場は産業の発展にもつながることから、雇用条件の改善と労働意欲向上のため、引き続き労働講座の開設や商工業従事者の永年勤続表彰を行います。

また、冬期雇用援護制度の充実にも意を注ぎます。

道民の森

平成5年に全地区がオープンした「道民の森」は、昨年1年間に20万3千人が利用しました。

昨年度からは2期計画に着手しましたが、施設拡充が当別町の発展に大きく貢献するものと確信するところであります。今後も施設の早期完成を北海道に要請します。

教育行政執行についての所信

教育長 有澤 禎雄



間近に迫った21世紀。1人ひとりがゆとりと潤いのある生活を実現のできる社会を築いていくために、教育の役割は国際社会を重要になってきています。また、個性を発揮しながら自己実現のできる社会を築いていくために、教育の役割は国際社会を重要になってきています。また、個性を発揮しながら自己実現のできる社会を築いていくために、教育の役割は国際社会を重要になってきています。

各学校教育

児童生徒が自ら考え、主体的に判断し行動できる資質や能力の育成など、創意と活力に満ちた学校づくりの推進が大切であり、4月からの学校週5日制の実施に配慮しつつ、教育課程の編成や指導方法・指導体制などを工夫し、効果的な実施に努めるとともに、教育方法の近代化に対応した教材・教具の充実や特色ある学校づくりの事業を積極的に推進します。

いじめの問題

学校・家庭・社会が一体となって取り組むべき課題であり、子供と親・教師との信頼関係を深めつつ、子供の生活態度や学校内の実態を十

分把握し適切に対応するとともに、児童生徒指導連絡協議会や少年指導センターなどの関係機関との協力や連携に努めます。

複式・特殊・幼稚園教育

複式教育については、それぞれの学校が地域の特性を生かした特色ある学校運営を進めるとともに、集合・交流学習などの学校間交流に努めます。特殊教育は、障害の種類や程度に応じた教育環境を整え、自ら障害を克服し社会参加を目指す教育活動を進めるとともに、母子通園センター事業を充実します。

幼稚園教育については、遊びを通し心豊かにたくましく生きる力の基礎を培う保育に努めます。

教育施設の整備

長年に渡り熱望されていた学校給食は、3学期の給食開始を目指し、当別町学校給食センター」を建設します。答申をいただいた学校給食準備委員会の審議内容を尊重し、児童・生徒に喜ばれる給食の実現に努力します。

児童・生徒が急増の西当別小・中学校にプレハブ校舎を増築するとともに、東裏小学校のトイレ・児童玄関の改修や当別小学校の物置の設置、中小屋小学校・当別中学校の自転車小屋改修工事を実施するほか、各学校の環境整備に努めます。

社会教育

青少年の健全育成は私達の願いです。父祖の地伊達邦直の郷里より岩出山町を訪ね、開拓の歴史と労苦を学ぶための少年国内研修を本年度から小学校5・6年生を対象に進めます。

「こどもプレイハウスの開設による留守家庭児童の校外生活健全化に努めるとともに、子供会・スポーツ少年団などの活動を支援します。

青年教育

引き続き海外研修を実施すると



文化財の保護

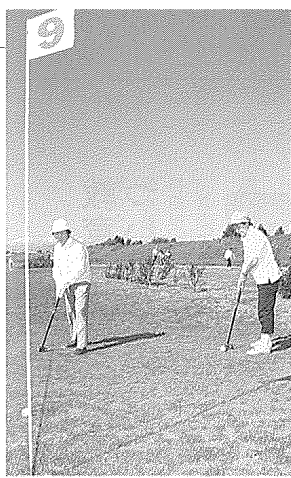
開拓期の様子を綴った古文書を整理し、特別展を開催するとともに、その成果を「特別展記念誌」として発行するほか、歴史・文化財の収集・保存に努めます。

社会教育施設

南部地域会館の外壁修繕やトイレの改造を実施します。また、西当別地区に計画のコミュニティセンター建設については、早期実現に努力します。

スポーツ振興

「町民皆スポーツ」を目指し、パークゴルフの講習会や大会、歩くスキートの講習会、ベタタンク、ニュースポーツの体験学習など、軽スポーツの普及やファミリースポーツの普及に努めます。また総合体育館アリーナ床面の研摩・塗装や西当別プール管理棟の改築、屋内ゲートボール場の暗渠排水工事をを行います。



歳出予算の概要

平成7年度の一般会計

議会・総務費

◆議会運営に1億3,473万円 ◆交通安全運動に598万円 ◆町名の整備や町名板設置に1,700万円 ◆人材育成に補助167万円 ◆北海道医療大学新学部設置に補助5,000万円 ◆青山線バス運行に補助1,094万円 ◆当別ダム対策に825万円 ◆各種選挙に3,070万円 ◆このほか、西町会館建設など

民生費

◆75歳以上の高齢者に敬老年金1,515万円 ◆68歳以上の方に老人健康管理手当1,025万円 ◆老人保健・国民健康保険特別会計に繰入金2億2,234万円 ◆寝たきり高齢者などの訪問歯科審査や高齢者事業団(仮称)への補助、ホームヘルプサービス、老人福祉施設措置費、老人医療費など、老人福祉に2億8,642万円 ◆養護老人ホームの運営に4,394万円 ◆老人憩の家の運営に718万円 ◆児童手当に3,650万円 ◆心身障害

衛生費

◆夜間・日曜などの救急医療に4,557万円 ◆各種予防検診に2,839万円 ◆公衆トイレ清掃や東裏墓地整備など、環境衛生に937万円 ◆火葬場の運営に640万円 ◆乳幼児健診・歯科検診など、母子保健事業振興や母子健康センターの管理に526万円 ◆し尿やごみ処理に2億5,232万円

労働・商工費

◆勤労者福祉センターの運営に372万円 ◆商工会・商店街振興・商工会館増改築への補助や中小企業特別融資など、商工振興に6,645万円 ◆当別町観光協会に補助など、観光費に579万円

農林水産費

◆フラワー美レッジ推進事業や特産作物振興・先進的農業生産総合推進対策・生産近代化施設整備事業補助

者・乳幼児・母子家庭等の医療費に8,574万円 ◆10カ所の保育所運営に8,404万円

各特別会計と事業会計予算

町の会計は一般会計のほか、目的別の特定事業を行う4つの特別会計と水道事業会計があります。各特別・事業会計の平成7年度予算額の前年度当初予算対比では、老人保健特別会計が8.6%増、国民健康保険特別会計が15.0%増、下水道事業特別会計が4.4%増、農業集落排水特別会計が8.4%増で、水道事業会計が4.9%の減となっています。一般会計と各5つの特別・事業会計の合計では、6.9%の増となっています。

一般会計予算 歳入・歳出 110億4,500万円

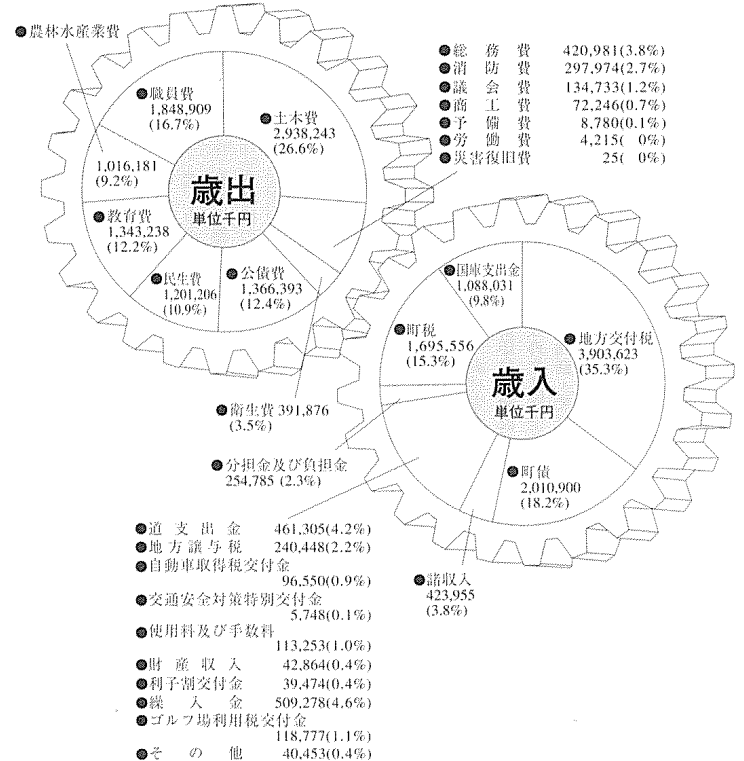


Table listing special and business account budgets: 老人保健 20億6,200万円, 国民健康保険 14億400万円, 下水道事業 9億7,200万円, 農業集落排水 1億8,100万円, 水道事業 6億290万円

土木費

◆道道の除雪委託など、機械センターに2億3,475万円 ◆町道スウェーデン大通線道路改良など、道路の改良・舗装・防雪柵設置などの道路新設改良費や維持費に9億4,563万円 ◆本通線橋りょうの新設工事など、橋りょうの新設改良や維持費に1億3,999万円 ◆パンケチュウベシナイ川の改修など、河川改良費に8,760万円 ◆土地区画整理事業B調査や基本計画策定など、土地区画整理費に1,926万円 ◆白樺緑地や当別河川緑地造成など、公園費に1億5,417万円 ◆鉄北通橋りょうや北栄通

教育費

◆スクールバスの運営費に2,809万円 ◆学校給食センター新築工事など、学校給食費に8億8,452万円 ◆小中学校の管理・施設・教育振興費に1億8,592万円 ◆幼稚園の管理運営に2,948万円 ◆公民館・視聴覚センター・社会教育施設・指導センターの管理運営や文化財保護に、4,464万円 ◆婦人や小学生の国内研修補助など、青少年費に1,182万円 ◆水泳プールや総合体育館、中小屋スキー場の管理運営など、保健体育に9,144万円

その他

◆消防費として石狩北部地区消防事務組合に負担金2億9,797万円 ◆長期借入金元金・利子償還など公債費に13億6,639万円 ◆職員給与費に18億4,890万円



北欧の味覚に舌つつみ

姉妹都市提携を結んでいるスウェーデン・レクサンド市との交流が切っ掛けで始まった「スウェーデン料理講習会」。今年の講師は、ヒルズに住むスウェーデン人女性3人。参加したのは町内の主婦ら13人で、内12人は初経験。北欧では、肉・魚などの保存方法は「塩漬」が一般的。この日はラム肉の塩漬を使った「ステーキ、やしょうがの香りを生かした「サーモンスープ」などの4品に挑戦していました。（改善センター・3月2日）



町善行者顕彰に岡島さん

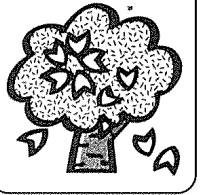
6年度の「当別町青少年善行者顕彰」に岡島幸子さん（錦町・3月当中卒）が選ばれました。町青少年問題協議会（会長＝伊達町長）が毎年行っているもので、6年度の顕彰は1人。地域育成会への積極的参加や下級生の指導とともに、町青少年育成会主催の女子フットベースボール大会やカルタ大会では、チームを優勝へ導くなどの活躍が認められたもの。役場で行われた式では伊達会長から、「21世紀を担う青少年として豊かな心をもって」と書かれた賞詞と楯が贈られました。（3月3日）



税に関する作文 大江さんらが受賞

「税に思うこと」と題した大江加代さん（中小屋中・3年）の作文が、最優秀賞を受賞しました。「税を正しく理解してもらおうと、町の納税貯蓄組合連合会（湯浅成夫会長）が昨年末、町内の中学生を対象に募集したもので、応募数は中小屋中と西当別中の2校からの合計36編。各学校で行われた表彰式では、大江さんのほか優秀賞に選ばれた藤原長憲くん（同・2年）、西当別中3年で佳作に選ばれた川辺美香さん・武岡理恵子さんや6人の入選者に、湯浅会長から表彰状と記念品が贈られました。（3月10日・学年は受賞時）

あ
れ
こ
れ
お
ち
の
課
題



ヒルズ舞台に歩くスキー

クロスカントリースキーが盛んな北欧にちなみ、北欧住宅が立ち並ぶスウェーデンヒルズを舞台に開かれた「ス・ヒルズ歩くスキーの集い」。記録よりも親ばくや健康増進が目的で、6歳から80歳までの親子ら126人が参加しました。距離は5キロと10キロの2コース。快晴となったこの日は気温も上昇し、参加者は皆軽装での出場。コース中盤にはすっかり汗ばみながらも、穏やかな残冬の一時を満喫していました。（3月12日）



勤続満40年で渡辺・谷浦さんが受賞

田西会館で開かれた、商工会主催の「平成6年度永年勤続優良従業員表彰式」。勤続満40年の渡辺順二さん（緑町・62歳・泉亭建設勤務）と谷浦政雄さん（元町・64歳・辻野商店勤務）のほか93人が受賞。満5年以上5年刻みの満40年勤続者までが対象で、辻野修商工会長から1人ひとりに表彰状と記念品が贈られました（写真）。また、20年以上の勤続37人に、伊達町長などから感謝状や表彰状が贈られました。（3月3日）



「輪投げ大会」に明るい歓声

スウェーデン交流センター横のスウェーデン公園で開かれた「雪中レクリエーション」。初春をも感じさせる穏やかな晴天の中、ヒルズに居住の家族連れなど約70人が参加し賑わいました。「ヒルズの冬を家族みんなで楽しもう」と開かれたもので、親子おんぶ競争や同公園内を駆ける地区対抗リレー、綱引きなどが行われました。中でも、投げた輪が見事棒に入るとミカンがもらえる輪投げ大会（写真）には、ひときわ子供たちの明るい歓声が上がっていました。（3月5日）



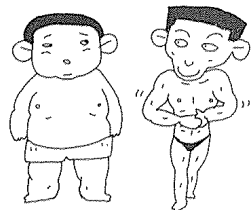
学びやに別れ 西当中で卒業式

第48回の西当別中学校卒業式。今年の卒業生は2クラスの51人。式では父母や在校生が見守る中、1人ひとりに高田哲嗣校長から卒業証書が手渡されました。同校はコーラスが盛んな学校で、式の後には在校生・卒業生によるコーラスや全体合唱で交歓しました。また、在校生による切り花のプレゼントや思いで多き中学校生活をまとめたスライドが上映され、楽しかった3年間も振り返りました。（3月15日）

こんにちは「保健婦」です



当別保健所 谷田実子さん



肥満は体によくないというこ
とは常識になっていて、体重を適
正に保つことが健康管理のポイン
トと言われています。
体がよく動き生き生きとした感
いで暮らせる、体に良くておいし
いものを楽しみながら満足ある食
事ができる——ことが目標になろ
うかと思えます。

肥満は体重でなく、中味が決まる

肥満度を出すするには、その人の
身長と体重から割り出しています
が、「肥満」というのは体重が多い
のではなく、「脂肪」が多いことな
ります。

で、次に筋肉・骨格系、そして脂
肪と続きます。

体の脂肪はおなかや足など、外
から見える皮下脂肪と内臓の周り
につく内臓脂肪があります。

これら体脂肪は、男性が体重の
20%、女性が30%を超えると肥満
と判定されます。

内臓に脂肪がつく「上体肥満」
タイプの人には糖尿病や高血圧・痛
風など成人病を合併しやすく、体
重はふつうでも、このタイプに入
る人もいます。

体脂肪率を知ろう

太っている人もそうでない人
も、自分の体脂肪率を知ること



体脂肪の測定

健康管理に大きく役立ちます。
昔は、皮下脂肪しか測ることが
できませんでした。

しかし、最近体脂肪測定器が開
発され、上腕の力こぶ辺りに器具
を当てるだけで瞬時に体組成をプ
リントアウトする測定器がきま
りました。

町ではこの体脂肪測定器を購
入し、定例の健康相談で活用してい
ます。

年齢・体重・身長・活動量・体
脂肪率など、個人データを入力
すると、望ましい体脂肪率にする
ための食事や運動のプログラムを
提供してくれます。

定例の健康相談は、毎週水曜日
午前中に役場で行っています。電
話予約されると待ち時間がなく便
利です。

どうぞご利用ください。(☎3
12330 保健衛生係・内線1
27)へ。

健診と相談

母親学級

▲コース「妊娠中を健康に」
とき 4月24日(水)
受付 12時50分～13時
ところ 母子健康センター

乳幼児健診

小児科医師(市立札幌病院の
診察、保健婦・栄養士による相談
を行います。

◎4カ月・7カ月児健診
とき 4月17日(月)
受付 13時30分～14時
ところ 母子健康センター

◎1歳6カ月児健診
とき 5月19日(金)
受付 13時～14時
ところ 母子健康センター

◎10カ月児健診
とき 4月21日(金)
受付 13時30分～14時
ところ 母子健康センター

◎1歳6カ月児健診
とき 5月19日(金)
受付 13時～14時
ところ 母子健康センター



3歳児健診

とき 4月4日(水)
受付 9時15分～10時30分
13時～13時20分
ところ 当別保健所

※対象者には個人通知します。

◎歯科検診・フッ素塗布
対象 満1歳児・就学前の幼児
とき 4月14日(金)
受付 9時～11時 13時～14時
ところ 当別保健所

※予約あり。住民課保健衛生係
(☎312330 内線127)へ。

予防接種

※ジフテリア・百日せき・破傷風と
麻疹・風しんは個別接種です。

集団接種

◎ツバ・BCG
対象・4歳児未満の乳幼児

日	時	全場	受待時間
4月11日(水)	9時～	青少年会館	13時～
4月13日(金)	9時～	美田中校	13時30分

◎ポリオ・生ワク
対象・生後3カ月～90カ月未満の者

年金

〔国民年金保険料が変わります〕

国民年金保険料は、平成7年4
月分から、月額11,700円(平
成6年度は11,100円)になり
ます。付加保険料は、平成6年度
と同額の4000円です。

保険料を4月28日までに全期前
納(1年分をまとめて納付)する
と、表のように割引されます。

皆さんの納めた保険料は、自分
の将来の年金を確保するだけでな
く現在受給している方々の年金の
財源にもなっています。

れて、年金を受ける時に満額にな
らなくて「がっかり」することの
ないように、毎月自動的に納付さ
れる「口座振替」をお勧めします。
町内金融機関の預金口座から振
替の場合は通帳・届印・納付案内
書を持参のうえ、金融機関 また
は役場国民年金係の窓口で、また
郵便局の貯金口座から振替の場合
は通帳・届印・納付案内書を持参
のうえ直接郵便局で手続きしてく
ださい。詳細は、役場国民年金係
へお尋ねください。

健康相談

とき 4月5日(水)、4月12日(水)、4月19日(水)、4月26日(水)

受付 9時30分～11時30分
ところ 役場福祉相談室
※「体脂肪計」を活用し、
筋肉質かポッチャリ脂肪型か、
体重だけではわからない体脂肪
が、3分程度でチェックできます。
※4月19日は栄養相談もあります。

NNNの健康相談

不眠、イライラ、お酒の飲みすぎ、
ボケなどの心配ことはありませんか。
心の悩みを持つ方や家族の
相談に専門医が応じます。
とき 4月21日(金)

受付 13時～14時
ところ 当別保健所
担当医 齊生会病院
後藤田俊彦先生

申込 保健所保健婦係(☎31
2141)へ予約のこと。

当別断酒会

とき 4月3日(月)・4月17日(月)
18時30分～20時30分
ところ 当別保健所
問い合わせ 当別保健所保健婦係
まで。

国保と年金 O&A

国保

医療費と医療費通知

Q 私は現在国民健康保険に
加入していますが、風邪をこ
じらせ町内の病院にかかり
2,700円を病院窓口で支
払いました。

2カ月後医療費通知(医療
費のお知らせ)が届き、医療
費総額を見ると9,000円と
なっていました。なぜで
しょうか?

A 国保制度では、万一病気やケ
がで治療を受けた場合、病院の窓
口に保険証を提示することによ
り、かかった医療費の3割(退職
者医療該当者は2割又は3割)を
負担すれば治療を受けることが
できます。

医療費総額が9,000円であ
れば、自己負担は医療費の3割分
の2,700円となり、残り7割が

国民健康保険の負担となります。
つまり、病院の窓口で2,700
円の支払でも、総額では9,000
円の治療費がかかっているのです。
医療費は、年々増加しています。
医療費が増加すると、それに伴っ
て保険料なども、皆さんの負担も大
きくなる場合があります。

医療費増加を防ぐため、医療費
の節約に心がけてください。医療
費節約とは、病気に必要ない医療
に行かないと言うことではありません。
むしろ早め早めに治療を受ける
方が病気を悪化させてから治療を
受けるより医療費の面で節約にな
る場合もあると言うことです。
定期的な健康診断を受けたり重
複受診をやるなど、ちょっとし
た心掛けて医療費増加を防ぐこと
ができますので、皆さんの協力を
お願いします。



年金保険料区分表

金	額	割引される	場	合	全期前納した場合	月々納めた場合	定額保険料	定額十付加保険料
3,390円					137,010円	140,400円(1,700円/12ヶ月)		145,200円(1,700円/12ヶ月)
3,510円					141,690円			145,200円

お知らせ

役場
3~2330

4月20日(土)30日 春の火災予防運動

一日と春めいてきましたが、この季節は空気の乾燥や強い風が吹くなど、火災の起きやすい時期です。4月20日から30日までは、全道一斉に「春の火災予防運動」も展開されます。

当別消防署では、火災から生命や貴重な財産を守るため、一般家庭の査察や火災予防パレード、模擬火災訓練などの各種行事を行いますので協力ください。

また、家庭では、①風の強い日は、たき火・ゴミ焼却をしない。②天ぷらを揚げるときは、その場を離れない。③ガスの使用後は、必ず元栓を閉めるように特に注意してください。

「緑の羽根」募金 運動にご協力を

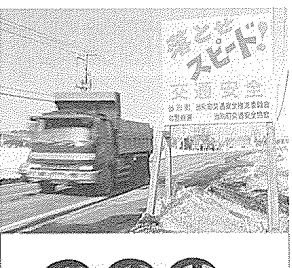
北海道国土緑化推進委員会では、4月20日から5月31日までの42日間「緑の羽根」募金運動を実施します。

利用ください 就学援助費制度

町は、経済的な理由のある家庭の児童・生徒の学用品代などを援助しています。援助希望の方は、次ぎにより申請ください。

- ① 生活保護を受けている方。
 - ② 生活保護が停止された方。
 - ③ 町民税が非課税、または減免された方。
 - ④ 児童扶養手当が支給されている方。
 - ⑤ 経済的理由によりお困りの方。
- 但し、②③⑤に該当の方は、平成6年分の世帯総所得が、標準4人世帯(父35歳・母30歳・子供9歳・4歳)でおよそ25.4万6千円(世帯の年齢構成が変わります)以下の方が対象です。

▼援助の内容
学用品・通学用品購入費や校外活動・修学旅行・給食費(但し、



当別町でもこの期間「みどりの少年団」や町内中学校の協力を得て、街頭募金や公共施設などに募金箱を置き、広く募金運動を行います。

益金は、町内の学校敷地や公共施設の緑化・緑の環境づくりの啓蒙に全額役立てられます。

児童・生徒による、緑の羽根街頭募金活動を見かけたときは、ぜひ協力をお願いします。

昨年度の益金(還元金)は125,991円で、弁別別中学校中庭の造成費に充てられています。

4月4日に設立 いきがい人材センター

町は、町内の高齢者に臨時的・短期的な仕事を提供するため、4月4日に「当別町いきがい人材センター」の設立に向け準備を進めています。

同センターは、仕事に意欲のある原則60歳以上の希望者を会員登録し、希望に沿った仕事を通して生かぎの発見や社会参加の助けをするものです。

生活保護を受けている方は修学旅行費のみ)

▼申請期限 4月14日まで

▼申請先 申請書に平成6年分源泉徴収書、または所得証明書を添付し、学校、または教育委員会に提出してください。

▼問い合わせ 教育委員会 学校教育係(☎312689)へ。

会員を募集しています 当別町観光協会

観光開発や振興を通じ、郷土の発展を願う当別町観光協会(神田光男会長)では、各種の協会事業に協力していただける会員(個人・法人)を募集しています。

「伊達記念館」や「道民の森」など、昨年当別町には約22万の観光客が訪れている状況で、協会のみならず、役割はさらに重要になってきています。応募をお待ちしています。

▼応募・問い合わせ
商工労働観光課観光係(内線2

入会希望者や依頼したい仕事のある方は、同センターへ連絡ください。

▼センター事務所
当別町勤労者福祉センター内(白樺町・☎212330)

気軽に相談ください 各種の相談ごと

官公庁など行政に対する問題や人権、福祉制度、色々な心配ごとなど、町内には国や道・町から委託を受けた各種の相談員がいます。いずれの相談も無料で、秘密も守られます。

相談は、直接各相談員に申し出てください。

行政(官公庁)に関する相談
平出理三郎(☎312009)

人権に関する相談
神田 光男(☎312460)

宮永美代子(☎312303)
三富女里子(☎612136)

各種心配ごとに関する相談
中山 栄一(☎312692)

身体障害者制度などに関する相談
大島 晃(☎213177)

大崎喜一郎(☎712169)
真野 武子(☎312487)

精神薄弱者制度などに関する相談
吉田 達雄(☎312224)

高齢者に関する相談
高嶋 初雄(☎213044)

問い合わせ 福祉保育課社会係(内線133)へ。

人材育成基金を利用し 新しいことに挑戦してみませんか

「まちづくりは人づくりから」
人材育成基金は、これからの町づくりに熱意を持つ人達を応援します。

昨年度は、この基金の利用について4件の申し込みがありました。人材育成基金活用推進委員会が審議し事業の実施を承認、事業は表のとおり終了しました。

あなたもこの制度を利用して、町づくりの主役になりませんか。

▼基金の制度
町の「ふるさと創生事業」の交付金を財源に、当別町が人材育成基金(現在、積立金は約8,100万円)を設け、その運用益金(利息)を利用したくもです。

▼対象者 町内に1年以上居住、または勤務している個人や団体。

いきいき 健康スポーツプラザ

生涯スポーツとは?

最近「生涯スポーツ」という言葉をよく耳にしますが、生涯スポーツとは「体何でしょう。」「生涯スポーツ」とは、簡単に言うと「競技的で高度な技術を要し、実行者が特定化されやすいスポーツではなく、いつても、どこでも、みんなが行えるスポーツともいいます。」

最近の所得水準の向上や余暇時間の増加、高齢化社会の進行など、経済・社会・環境の変化は私たちの生活様式に急激な変化をもたらしています。

また、都市化の進行、家庭や職場における利便化、機械化は、体を動かす機会を減少させる一方でストレスを増大させるなど、心と体に大きな影響を与えています。

このようなかで、スポーツは「からだを動かしたい」という人間の欲求にこたえるだけでなく、精神的満足感を与え、健康増進や体力的向上、心身の健康な発達に大きく役立っているのです。

こうした状況を背景に、幼児期から高齢期に至る生涯の各期において全ての人々が身近に親

しむことのできる生涯スポーツの重要性は益々高まるものと思われま。

総合体育館では、既成のスポーツだけでなく、レクリエーションスポーツの情報、サークルの紹介など、皆さんが生涯スポーツに取り組めるよう支援しています。

クラブ登録の 更新手続きを!!

平成7年度がスタートしました。総合体育館を利用する団体は団体登録が必要です。所定の様式に必要事項を記入して窓口へ提出してください。



▼相談・申請先
企画課企画係(内線243)へ。
▼その他 4月中の申請は、5月に委員会を開催し審議します。早目にご相談ください。

人材育成基金利用実績一覧 (補助金交付合計額~1,775,000円)

申請者	事業名	(事業総額) 補助金交付額
当別青年会議所 藤沢 謙一	'94エコ・フェスティバル 講演会開催事業	(390,000円) 200,000円
スウェーデンのテキスタイル工業習得事業代表 原田せい子 (スウェーデンヘルズ)	スウェーデンのテキスタイル工業習得事業(3名)	(1,193,765円) 955,000円
当別町農協青年部部長 谷口 隆志	石狩地区農協青年部道外視察研修(3名)	(396,000円) 196,000円
西当別農協青年部部長 宮本 勝則	JA北海道青年部海外農業視察研修(1名)	(630,000円) 424,000円

4月3日から
社会福祉協議会の事務所が
移転します

●移転先
町勤労者福祉センター1F内
当別町白樺町58番地
(TEL 2-2301)

募集します 万歩計体験モニター

健康のためには、1日1万歩位が良いと言われていますが、あなたほどの位歩いてみますか？

- ▼日程 5月11日(木)、6月8日(木)、7月11日(火)、8月10日(木)
▼時間 10時15分30分(7月11日は10時13時)
▼募集人数 20名

4月からスタート 雇用保険の新制度

この制度は、60歳から65歳までの雇用保険の被保険者が、60歳の時点の85%未満の賃金で雇用されているときに、被保険者に「高齢者雇用継続基本給付金」が支給される制度です。

用保険の被保険者である場合は、「高齢者再就職給付金」を受けることができるとされています。

学んでみませんか 英会話講座

教育委員会では、英会話に多少自信のある方を対象に、「英会話講座」を開きます。

募集しています 女性消防団員

当消防団では、高齢者など災害弱者に対する防火PRのため、女性消防団員を募集しています。

相談ください 町農業経営支援センター・支援相談窓口

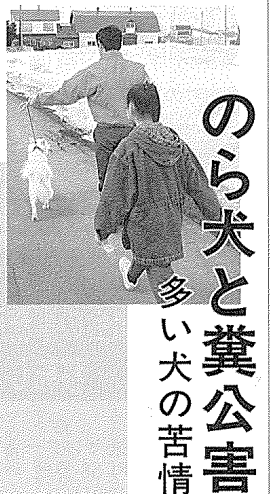
町では魅力とやりがいのある農業経営の育成と、意欲あふれる農業経営者を支援するため、役場内に「当別町農業経営支援センター」を、また農業関係機関には「支援相談窓口」を設置しました。

募集しています 女性消防団員

当消防団では、高齢者など災害弱者に対する防火PRのため、女性消防団員を募集しています。

相談、問い合わせ 役場保健衛生係(内線127)

犬の苦情で多いのは、放し飼いや放浪犬に関するもの。子犬を見て「可愛い」と飼いたくても、世話ができず放し飼いで、捨ててしまったりはしていませんか。



のら犬と糞公害 多い犬の苦情

犬の苦情で多いのは、放し飼いや放浪犬に関するもの。子犬を見て「可愛い」と飼いたくても、世話ができず放し飼いで、捨ててしまったりはしていませんか。

今月から変わります 老人医療費の自己負担額

老人保健法の改正により4月1日から、68歳以上の方が医療機関の窓口で支払う自己(一部)負担額が次のように変わりました。

今月から変わります 老人医療費の自己負担額

老人保健法の改正により4月1日から、68歳以上の方が医療機関の窓口で支払う自己(一部)負担額が次のように変わりました。

受験してみませんか 森林インストラクター資格試験

森林教室や森に関したイベントなどで活躍していただく「森林インストラクター」の養成講習会と資格試験が行われます。

綱引きの仲間を募集 西当別引張ろう会

全道大会にも出場経験がある、綱引きの愛好会「西当別引張ろう会」では、仲間を募集しています。

公民館図書室から(家公民館内) 新着図書 祝祭日を除く10時から17時まで。

Table with 3 columns: Author, Title, Name. Includes books like '生きているセント' and 'ダイアナ妃の真実'.

Table with 3 columns: Author, Title, Name. Includes books like 'ズッコケ三人組と学校の怪談' and 'アルセーザ・ルパン全集'.

5月の法律・登記無料相談は11日(木)13時からになります。登記相談は登記簿謄本・印鑑証明などの交付申請の受付もします。

みんのひろば

堀梅治さん 産業貢献賞受賞



長年にわたり農業委員を務める堀梅治さん（歳貸町・65歳）が3月14日、札幌市で行われた表彰式で北海道産業貢献賞（農業関係労働者）を受賞されました。

堀さんは、昭和38年に農業委員

に当選。その後も町議会の推薦を受け、昭和47年から現在まで連続8期の、延べ25年以上農業委員を務められています。

この間同氏は、農業行政や農業振興に努められたほか、砂利対策特別委員長や農地転用審査特別委員として農地の保全などに貢献されたもので、この度これらの功績が認められたものです。

伊東定吉さん 町に100万円寄付

「母が生前町にお世話になりました。町が建設予定の『文化センター』建設に役立ててください。」と、伊東定吉さん（若葉町・農業・



内科系急病当番医

☆受診前に必ず確認を。
☆受診時間は、平日は19時から翌朝7時まで。土曜は上段が14時から17時まで。下段は19時から翌朝7時から17時まで。祝祭日は上段が9時から17時まで、下段が19時から翌朝7時まで。

4月	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	堀堀	堀堀	と	近	堀	堀	勤	大	太
	堀堀	堀堀	堀堀	堀堀	堀堀	堀堀	堀堀	堀堀	堀堀
5月	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	近	堀堀	堀堀	堀堀	堀堀	堀堀	堀堀	堀堀	堀堀
	堀堀	堀堀	堀堀	堀堀	堀堀	堀堀	堀堀	堀堀	堀堀

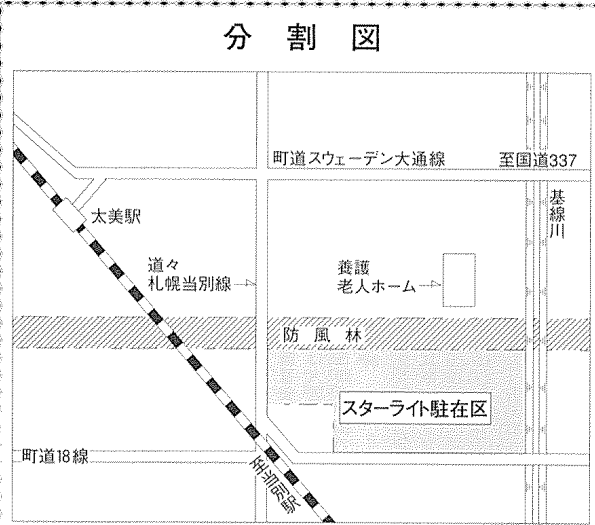
近藤 医院 (☎3-2021 園生)
大中央 医院 (☎6-2332 南町)
勤医協 (☎3-3010 錦町)
堀江病院 (☎2-3111 権戸町)
とうべつ内科クリニック (☎2-1313 園生)



69歳) が3月15日、役場に伊達町長を訪ね現金100万円を手渡ししました。
母・イトさんが3月4日、90歳で亡くなったもので、町は伊東さんの趣旨に沿い、町が設けた『文化センター建設基金』に積立することにしています。
同基金にはこの日までに、町費と一般寄付を合わせ、約1億300万円が積み立てられています。

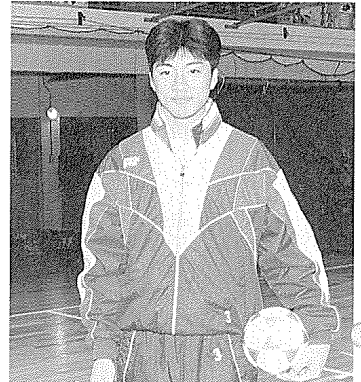
当別大駐在区から分割 スターライト駐在区

町は今年1日から、『当別大駐在区』の区域を2つに分割し、新たに『スターライト駐在区』の区域(図参照)を設けました。
当別大駐在区では、昭和63年の札幌大橋完成以来著しく人口の増加が進んでいるので、分割は町行政をより円滑に進めるためのもです。
『駐在区』と言うのは、『区域』を意味し、町条例で定めているのもです。
設定目的の1つは、広報誌など町発行の各種のお知らせを効率的に皆さんにお届けするためのもので、『住所』ではありません。



まぢのはつらつさん 24

池内友彦さん
(室蘭大谷高校3年 17歳)



友彦くん。

「プロ選手としてJリーグの舞台に立つことを目指すか、大学に進学してサッカーを続けるかは、まだ決めていないんです。もしプロとしてやっていくな、守りもやりながら攻撃にも参加する自分のサッカースタイル(攻撃的ウィングバック)を戦術として取り入れてる。ベルマーレ平塚。でやってみたいです。」と話すのは、本町出身で、室蘭大谷高校3年の池内

一種独特の雰囲気もあり、本場のサッカー場でサッカーしてるんだ。つてつくづく感激しました。」と話にも力がこもります。
池内くんは、この全国大会出場選手の中から30人の優秀選手に選ばれ、千葉東で行われた合宿を経て、最終的には日本高校選抜チームの20人に選ばれたほどの豪脚の持ち主。道内からは池内くん1人だけが選ばれたそうで、20人の中には、すでにプロ契約している選手もいるのだそう。
池内くんが選ばれた日本高校選抜チームは、今月6日からドイツに遠征し、ベリンツォーネという町で親善試合を4試合した後、同国のデュセルドルフで開催される『第33回デュセルドルフ国際ユースサッカー大会』に出場するそうです。
「この遠征が今後の自分のサッカーにプラスになるようにがんばってきます。」と瞳を輝かせます。

正々坊の日記

No. 210



戸籍のまど



おめでとう ございませう

氏名 (父) (母) (住所)

- 増田 竜弥 一雄 / 民枝 栄町
- 住友美奈子 信明 / 裕美子 北栄町
- 松浦 佳助 健一 / のぶ 東蔵谷
- 高瀬 瑞衣 清志 / 静美 末広
- 古淵 篤史 克英 / 恭子 六軒町
- 岩田 恵一 恵藏 / 春美 春日町
- 田村 勇輝 英則 / 宏美 小美
- 高田 駿太郎 光明 / 万美子 南町
- 植田 はんか 郁翁 / 美智子 対馬通
- 小内 真理子 伸也 / 美穂子 川平
- 山内 健太 敏雄 / ゆう子 当別太
- 澤内 優花 一哉 / 真山美 南町
- 加藤 睦梨 信雄 / 智美 南町

ご寄付 ありがとうございました

☆当別町へ
▼当別町赤十字奉仕団(桑嶋ミネ委員長)から創設30周年記念事業として、かすみ草苗代20万円
☆当別町文化センター建設基金へ
▼武田弘子さん(元町)から30万円
☆西当別小学校へ
▼ヒトエ婦人部(高山恭子支部長)

から推山55枚
☆各小学校へ
▼商工会婦人部(山田みい部長)から推山200枚
☆養護老人ホーム長寿園へ
▼山本栄子さん(末広)から毛糸のクツ下カバー28足
☆社会福祉協議会へ
▼石崎和雄さん(当別太)から5万円
▼山田綾子さん(若葉町)から5万円
▼藤田茂雄さん(山下右岸)から5万円
▼福祉の集いふくろうの家(川井雄一代表・札幌市)から5万円

氏名 (年齢) (世帯主) (住所)

- 櫻井 麗 (24) 一敏 むら野
- 石崎久太郎 (回) 相雄 当別太
- 山田 和義 (56) 本人 東蔵谷
- 松浦 佳助 (5) 本人 末広
- 菅原 清 (6) 本人 下川野
- 京藤 菊江 (45) 本人 めい野
- 小川 一 (60) 本人 表平
- 伊東 イト (99) 定吉 若葉町
- 佐々木 勝貞 (79) 本人 弥生
- 河地 幸雄 (77) 本人 赤生
- 梅澤 惣一 (63) 久吉 茂平
- 河合 勝二 (82) 本人 東町
- 上野山 さい (84) 清 ナミ 白樺町
- 泰美 貞 表美貞

微妙な肌ざわりや色合いが魅力



まさあき
清水正明さん

(獅子内・31歳)

陶芸工房を持つ2人の夢が、当別でかなう。陶器製作は、正明さんとともにしおり夫人も手掛ける陶芸一家。材料の粘土は道内産のほか、獅子内産の粘土でも試作中。作品は、皿などの生活用品が主。平成6年8月札幌市から転入。

国道337号線に面した農家の住宅と納屋を借り上げ、しおり夫人とともに自分の。窯で陶芸を始めたのは、当別に来た昨年8月以降。住宅の1階が、正明さん自身が改造した工房で、灯油が燃料の窯は別棟の納屋。工房内には、木材やモミ殻の灰・貝殻の成分などが原料の「釉薬Ⅱゆうやく」が入った小瓶や乾燥途中の作品が、手作りの棚にずらりと並んでいる。

作品は、日常生活に密着した皿や湯飲み、コップ・鉢や花瓶などが主流。また、それらの作品に混じり、正明さんが遊び心(?)で作ったティッシュペーパーの箱ほどの大きさのバイクに乗った空想のライダーが目を引きます。清水さんは、道内の大学のデザイン学科を卒業後、2年ほどデザイン関係の会社に勤務。その後訪ねた沖繩で、南の国の魚や生き生きとした絵柄・模様を陶器に描く「壺屋焼」に感

動しこの道を目指したのだそう。下働きだったものの沖繩では、住み込みで、壺屋焼を1年間勉強。25歳で札幌にもどった清水さんは、知人の工房に通い製作活動を続けました。

しかし、思いは、自分の窯で自由に作りたい。との願い。「そんな思いが、やっと当別でかなったんです。」と顔をほころばせました。

「でき映えは、粘土によってもすいぶん変わるんです。微妙な肌ざわりや色合い・斑点上の模様などは、混入している鉄分などの成分が吹き出てくるためなんです。」と言います。

粘土は江別産の煉瓦用や札幌近郊の粘土など、主に道内産を購入。最近では、町内の獅子内で採れた粘土でも試しているそう。2人は、「生活中心のもののほか、テーマに沿った観賞的アイテムも手掛けたい。」と、陶芸に賭ける夢を膨らませます。

編集後記



シンボルマーク
キャラクターの「こめちゃん」

新入学・入社 of 時期を迎え、新たに通学・通勤する方も多いためですが、自分の住んでいる市区町村以外へ通学や通勤をしている人が年々増えているそうです。

平成2年の国勢調査によると、職場や学校に通っている人は、全国で約5,952万人(自営業を除く)いたということです。この内、約半数の約2,900万人がほかの市区町村に通っていたといわれています。

また、職場や学校が県外にある人は、全体の1割に当たる約600万人いたそうです。

この調査結果を5年前、10年前の調査と比べると、通学や通勤をしている人は全体として増える傾向にあり、中でも他の市区町村や県外に通っている人が目立って多くなっているそうです。

札幌市に隣接する当別町も、昭和63年に札幌大橋が開通したことやJR学園都市線の利便性が向上したことから、平成2年の国勢調査によると2,000人以上の方が町外の職場や学校に通っていたということです。

今は、世界の各国においても、ポータブルの時代と言われていて、私達の身近なところでも各市区町村の方々の往来が盛んになってきているのだと感じました。